恵泉女学園大学ＧＺクラブ　代表 加藤未紗（かとう みさ）　国際社会学科４年

本日はゾンタクラブのアジア地区間会議に出席できるという貴重な経験をさせて頂き、ありがとう ございました。東京Ⅱゾンタクラブの会員の皆様とご挨拶をすることができたり、違う地域のゴールデンＺクラブの学生の方と交流することで、活動のモチベーションに繋がりました。

セッションの内容は全て興味深く、私自身が日頃社会問題として気にかけていることが、より深く掘り下げられており、社会問題に対して多角的に考えるきっかけとなりました。セッション 2 ではマイクランナーとして質疑応答のお手伝いをしたのですが、質問者の熱い問いかけやお話を聞いている会員の皆様の反応を間近に見ることができ、とても刺激を頂きました。

ゾンタクラブの会員の皆様は地域や国が違えど、同じ志を持ち、物事に対してディスカッションし合える空間はとても心地よく、誰もが他人事ではなく自分事のように問題について考えていると実感することが出来ました。

ゴールデン Z クラブとして様々な活動に携わってきましたが、学生だからと受容的に物事を受け止めていた自分がいました。しかし、今回のセッション 3 でアジアの国々の同じ年齢の方や 18 歳の少女などが社会問題やありとあらゆる女性の問題について、沢山の人が集まる今回の会議で話しており、社会問題について考え、行動を示すことに年齢の壁はないと気づくことが出来ました。　短い時間の参加になりましたが、国際会議に出席したことで得られた学びは沢山あります。この経験を活かし、これから先の進路選択や、最後のゴールデン Z としての活動に力を尽くしていきたいです。本日は本当にありがとうございました。

恵泉女学園大学ＧＺクラブ　副代表 赤上流羽（あかがみ るう）　国際社会学科４年

今回はアジア地区間会議に参加するという貴重な機会を頂けて本当に感謝しています。今まで東京Ⅱゾンタクラブの方々とはお会いする機会はありましたが、他のエリアのゾンタクラブの方とお会いするのは初めてでした。そして、壇上でお話されていたスピーカーの皆さんや同年代の方たちのお話は私にとって、とても刺激的でした。

特に、フィリピンの方は DV を受けた女性を法的に援助したり、バングラデシュの方は児童婚を防ぐために PC を使った職業訓練を行ったり、台湾の方はルッキズムへの抗議活動を行っていたりと、ゾンタクラブの支援でアジアで様々なことをしている人がいることに驚き、励まされました。

私達、恵泉女学園大学 GZ クラブも、東京Ⅱゾンタクラブ様からの支援を頂き、これまで子育て支援の奉仕活動として、子どもたちに紙芝居を読んだり、小中学校で平和啓発のための平和授業をしたり、募金活動などをしてきました。今回の会議への参加によって、私たちのこれまでの活動が、私の夢である「世界の子どもたちの教育と平和」に繋がっていることを肌で感じ、とても感動しました。また、アジアのゾンシャンの方たちの活動を知ったことで、私も具体的にできることにもっと力を注ぎたいと勇気をいただきました。
このような大きな学びの機会をいただき本当にありがとうございました。これからも頑張ります！